

「第22回 千駄木プレホスピタル研究会開催報告」

6月3日 金曜日、第22回千駄木プレホスピタル研究会を当大学院棟にて開催いたしました。患者様により良い医療を提供するべく、救急隊と病院スタッフとの「顔の見える関係」を築くことを目的に設立された本研究会は、今回で22回目を迎え70名を超える方々にご参加いただきました。

今回は救命救急科・栗本健太郎先生の解説によるクラッシュ症候群の症例検討、同じく救命救急科講師・増野智彦先生より「ショック輸液について」のご講演をいただきました。また、現在医療法人鉄蕉会亀田総合病院救命救急科部長・二宮宜文先生には「東日本大震災におけるがれきの下の医療」のご講演をいただきました。

当日参加された方々からは「大変勉強になった」「次回も是非参加したい」との声を頂戴し、チーム医療の輪をより強固なものとするよう、次回開催に臨みたいと考えています。

東京消防庁委託研修生

